

# 徳島県「第100回国際協同組合デー」開催

7月14日(木)あわぎんホール(徳島県郷土文化会館)にて「第100回国際協同組合デー」のイベントが開催され、実出席、オンライン出席を含め約70名の参加がありました。

徳島県では、徳島県農業協同組合中央会、徳島県漁業協同組合連合会、徳島県森林組合連合会、徳島県生活協同組合連合会が主催で、毎年持ち回りで企画を検討しています。

今年は、徳島県生活協同組合連合会の当番で、記念すべき「第100回目の国際協同組合デー」記念ということもあり、日本生活協同組合連合会常務理事を務められております二村睦子氏に講師をお願いして【コロナ禍におけるつながりと協同組合の役割】をテーマにご講演をいただきました。

日本生活協同組合連合会常務理事二村睦子氏からのご講演の中では「コロナ禍での取り組みから学んだこと」

「これからの地域と協同組合」についてのお話をいただきました。

「コロナ禍での取り組みから学んだこと」としては、コロナ禍で生まれたことをあげていただき、様々な具体的な事例を紹介していただき、「たすけあいの組織として」「地域に根差した組織として」「人と人とのつながりの組織として」など協同組合の取り組むべきことをお話いただきました。

「これからの地域と協同組合」としては、JAグループ、全国森林組合連合会、全国漁協協同組合連合会、日本労働者協同組合連合会、日本生協連のテーマを紹介していただき、協同組合の第7原則「コミュニティへの関与」を題材に協同組合は、組合員によって承認された政策を通じてコミュニティの持続可能な発展のために活動することが大切であり、生協だけでできることは限られているが、行政や地域の諸団体と連携することで、生協の強みを生かして地域の問題の解決に貢献することができる、また連携することで生協自身が、生協の強みと弱みに気づくことができる、連携を通じて、地域の課題やニーズに気づくことができ、新しい事業や活動の種を得ることができるとお話いただきました。

当日は、徳島県からご来賓として徳島県危機管理環境部消費者暮らし安全局局長の玉田直彦様にご挨拶を賜りました。また、主催の4団体の代表が挨拶されました。



【日本生活協同組合連合会 二村常務様】



【徳島県 玉田局長 様】



徳島県農業協同組合中央会  
橋本 浩 副会長



徳島県漁業協同組合連合会  
坂本 昭一 専務理事



徳島県森林組合連合会  
杉本 直樹 会長



徳島県生活協同組合連合会  
大久保 秀幸 会長